



まえてつ通信 2nd

NO. 078 2018.9.13(木)

◎MICE推進よりもやるべきことがあるだろう

去る5日、長崎市が県へ「市政に関する要望」を行い、私も知事への要望の場に立ち会いました。(※要望項目は下記) 実は事前に市より個人で説明を受ける機会があり、担当部署にいくつか要望した中の一つに以下のような注文をつけました。

『本県の一番の課題は人口減少(特に社会減)であり、それが改善できない一番の大きな原因は県都長崎市が「人口のダム機能」を果たせていないことである(通信NO.41に記載)。であるなら、人口減少対策や雇用創出への取り組みへの県としての支援をいの一に要望すべきではないか。要望の優先順位が違う』

【転出超過県の県庁所在地のダム機能(H17.10.1~H22.10.1)】

	県内市町村(県庁所在地除く)から県外への転出超過数	県内市町村(県庁所在地除く)から県庁所在地への転出超過数	A+B	県庁所在地のカバー率 B/A+B
	A	B		
1 鹿児島県	3,855	5,461	9,316	58.6%
2 宮崎県	4,491	5,007	9,498	52.7%
3 熊本県	6,050	1,545	7,595	20.3%
4 佐賀県	3,754	579	4,333	13.4%
5 ★長崎県	18,590	681	19,271	3.5%
計	36,740	13,273	50,013	26.5%

(出典)H22 国勢調査

過去に長崎市のダム機能3.5%(H22国調)とお知らせしましたが、その後の景気の回復によりH27国調では九州各県庁所在地のダム機能(カバー率)は大幅に上昇しています。**本県を除いては!**

まさに仰天の数字です。この最重要課題を意識せず改善できなかった現市長は、辛辣に言えばこれだけで「落第」だと思います。この12年何をしてきたのか…市議会はこれこそ徹底して討議すべきで、あわせてこれからの処方箋を示さなければなりません。

【転出超過県の県庁所在地のダム機能(H22.10.1~H27.10.1)】

	県内市町村(県庁所在地除く)から県外への転出超過数	県内市町村(県庁所在地除く)から県庁所在地への転出超過数	A+B	県庁所在地のカバー率 B/A+B
	A	B		
1 鹿児島県	432	2,923	3,355	87.1%
2 大分県	1,647	4,705	6,352	74.1%
3 宮崎県	2,548	3,647	6,195	58.9%
4 佐賀県	2,142	1,750	3,892	45.0%
5 熊本県	3,079	1,900	4,979	38.2%
6 ★長崎県	8,877	-117	8,760	-1.3%
計	18,725	14,808	33,533	44.2%

(出典)H27 国勢調査

長崎市から長崎県へ「市政に関する要望」(1~3は重点項目)

1. 県市一体となったMICE誘致・受け入れの推進
2. 子どもに対する医療制度の対象者拡大
3. 幹線道路等の整備促進と道路予算の確保
4. 長崎市平和マラソン開催に向けた支援
5. 鳥獣被害防止総合対策事業の予算確保
6. 急傾斜地崩壊対策事業の促進
7. 亜熱帯植物園閉園に係る野母崎地区の振興への財政支援
8. 超低床路面電車の導入への支援
9. 県単独補助金の見直し
10. 端島炭鉱の整備事業への財政支援

11. 福祉医療費への県補助
12. 放課後児童クラブ母子家庭等減免に対する県の補助
13. 観光立国ショークース取組み支援
14. 21世紀まちづくり補助金のイベントへの支援
15. 国宝文化財整備に対する補助金充当
16. 出島復元整備事業等の連携協議
17. 松が枝2バース化の早期事業化
18. 市街地開発事業への支援
19. 駅周辺で計画中の各種事業促進
20. 長崎夜景の魅力向上への取組み
21. スクールカウンセラーの配置拡充
22. 栄養教諭等配置拡充

【個人質問いたします(9月県議会)】ご都合がよろしければ傍聴にお越しくださいますようお願い申し上げます。

●日時 9月18日(火) 11:10~12:10 予定 ●場所 県庁 議会棟 本会議場(長崎市尾上町3-1)

※議会4F受付にて記名のみで傍聴できます(駐車券は退場時ご提示)

発行: 前田哲也 〒852-8023 長崎市若草町14-11 <http://maetetsu.jp/> TEL095-840-9020 FAX840-9027

※まえてつ通信はご希望の方、ご支援頂いている方にお送りしています。メール配信(カラーPDF)へ変更ご希望の方はご連絡ください。